



## 自分の組織の現状(活動の強い点・弱い点)を知ることが第一歩! —「2024年度組織拡大実務者研修会」で学ぶ—



講演の様子  
写真上/講師 小林勝也中央執行委員



グループワーク&発表の様子

7月13日(土)、「連合鳥取2024年度組織拡大実務者研修会」を倉吉体育文化会館大会議室で開催しました。研修会には講師を含め全体で59人(うち女性9人・女性参画率15.3%)が参加しました。

河村正之事務局長の司会では、山口一樹会長が「組織拡大は連合鳥取の最重要課題である。働くことを軸とする安心社会の実現に向けた取り組みとして組織拡大を強化していただきたい」とあいさつしました。続いて、電機連合中央執行委員の小林勝也さんを講師に招き、「組合活動の道しるべ」ミチシルベの活用についてと題して講演いただきました。内容は、電機連合が独自発行している「組合活動の道しるべ」を活用し、チェックシートを用いて組織の現状を知り、「組織強化」や「組織力の向上」をランクアップするためのポイントについて詳しく説明いただきました。

その後、AからJの10組に分かれてグループワークを行い、3つのテーマについて意見交換を行いました。

**【テーマ】**

- ① チェックシートの結果について
- ② 課題解決に向けた取り組みについて
- ③ 組織拡大に関して学びたいこと

グループワークの発表では、



左から  
船岡局長 山口会長  
河村事務局長



発表後には、連合鳥取組織局の船岡誠局長から「どこの単組も問題は同じだと感じた。難しい問題だが、組織内にキーパーソンを作る(見つける)ことが重要である。今回の研修をそれぞれの単組で活かしてほしい」とまとめを行いました。

最後に、山口会長の「団結が んばろう」で研修会を終了しました。



日教組鳥取県教職員組合 中松 輝嘉さん



電機連合では、冊子「組合活動の道しるべ」道知るチャート」を活用して、組織強化・拡大にとりくんでおられることを聞いた。産別は異なっても、組合活動の軸となることは共通しているものがあるため、とても参考になるご講演だった。グループワークでは、他産別の実践を共有しながら話し合った。組織拡大は急務である。今回の研修会で得たものを今後の組合活動に活かそうと思う。

電力総連中国電力ユニオン 丸山 涼さん



私たちの組合でも、近年組合への関心が薄れている組合員も多く、組織強化は喫緊の課題であると認識している。今回の研修会では、他産別労組の取り組みを聞くことができ、それらを参考に、私の支部での活動の見直しを含め、今後の組織強化活動に活かしていきたいと思った。



## より住みやすい鳥取県をめざして① —労働政策セミナー・政策討論集会を開催—

6月29日(土)、ハワイアロホールにおいて「2024労働政策セミナー・政策討論集会」を開催し、連合推薦議員13人を含む115人(うち女性14人・女性参画率12.2%)の参加がありました。

冒頭、主催者を代表して山口一樹会長が「春闘終盤にきている。連合結成以来高水準の妥結状況であるが、企業規模による格差が拡大傾向にある。県民生活者の暮らしやすさを向上させるためには、この度の政策要求を実現していくことも重要なので、是非真摯な討論でより良いものにしていただきたい」とあいさつしました。

また、来賓として湯原俊二衆議院議員にも来場いただき、推薦議員団を代表してのあいさつとともに、現在の国政状況や地方が抱える諸課題への対応内容について報告いただきました。

### 【労働政策セミナー】

講演 「賃上げを実現する地域経済の条件」

講師/鳥取大学地域学部

地域学科地域創造コース教授 多田憲一郎さん

「日本経済の停滞は人口減少ではなくイノベーションの不足」、「イノベーションとは技術革新だけではなく、新しい結合を生み出すことも含む」、「地方でもイノベーションを生み出すことは可能であり、外来誘致型ではなく内発的発展により地域経済は伸びていく」など、これからの地域経済発展への処方箋について話されました。



あいさつする湯原俊二衆議院議員



写真上/講師 多田教授

### 【政策討論集会】

「2025年度連合鳥取政策・制度要求(案)」26項目・76点の要求内容について各担当者から解説を行いました。参加者からは①教員不足による厳しい労働環境と教員確保②中山間地問題③メンタル問題などについて質問や意見が出され、深化を図ることができました。

最後に、細砂直労働政策局長からのまとめのあいさつと、山口会長の「団結がんばろう」で集会を閉じました。



真剣に提案を聴く参加者

要求内容の解説をする担当者



左から/河村正之事務局長 三浦敏樹執行委員長(自治労) 村尾昌彦執行委員長(交通労連) 大橋良輔執行委員長(全国農団労) 北畑仁史支部長(UAゼンセン) 細砂直執行委員長(日教組)



山口会長

## より住みやすい鳥取県をめざして② —鳥取県と鳥取労働局へ要請行動を実施—

6月の男女平等月間の取り組みの一つとして、連合鳥取は6月28日(金)、「男女平等参画社会の実現に向けた要請書」を鳥取県の平井伸治知事と鳥取労働局の平川雅浩局長に手交し、それぞれ意見交換を行いました。また、平川雅浩局長には「最低賃金行政に関する要請書」も手交しました。

### —鳥取県要請—【発言要旨】

山口一樹会長/

鳥取県は全国でも先進的に取り組んでおられるが、まだまだ全国的には取り組みが遅れている。鳥取県が全国をリードし、その内容を積極的に発信していただきたい。

平井伸治知事/

重要な提言をいただいた。めざす方向は同じなので、車の両輪として取り組みを進めてまいりたい。

森由香里副会長・小谷くみこ女性委員長/ 自分自身が被災者の立場になるかわからない。災害対応に際して女性の視点を取り入れていただきたい。カスタマーハラスメントの精神的負担感について対策を講じていただきたい。



鳥取県知事に要請書を手交



意見交換の様子

### —鳥取労働局要請—【発言要旨】

山口会長/

男女平等参画について、鳥取県は全国に比べて先進的だがまだ取り組みの余地は大きい。引き続きご支援をいただきたい。また、最低賃金について、今年の春闘では昨年以上の賃上げを獲得している状況ではあるが、まだ物価上昇に追いついておらず、未組織労働者への確実な波及をさせるためには最低賃金が大きな意味を持つので、是非真摯な審議をお願いしたい。

平川雅浩局長/

男女平等参画推進については、「雇用機会の確保と多様な人材の活躍支援」「誰もが働きやすい職場環境づくり」を2本柱として取り組んでいる。また、最低賃金については、昨年全国をリードする形になったことを踏まえ、本年は昨年以上に重要な局面であると認識している。是非、公労使全体の合意をめざしたい。

森副会長・小谷女性委員長/

「男女の賃金差異の公表義務化」「カスハラ対応」「人口流出と人材確保」などについて見解を述べた。



鳥取労働局長に男女平等参画の要請書を手交



鳥取労働局長に最低賃金の要請書を手交

## 南部町議会議員選挙 推薦決定

連合鳥取は「第8回(拡大)執行委員会(7月18日開催)」において、南部町議会議員選挙(10月8日告示・10月13日投開票)に下記の予定候補者を推薦することを決定しました。組合員のみなさまのご支援、ご家族、ご友人、知人のみなさまへのご周知をよろしくお願ひします。

ながつか 博信 (73歳/現2期/部落解放同盟)



## 境港市長選挙 結果

6月30日(日)に告示された境港市長選挙は、ほかに立候補者がいなかったため、連合鳥取推薦の伊達憲太郎さんが無投票で再選を果たしました。

連合鳥取推薦候補者のためご尽力いただきましたみなさんに心より感謝申し上げます。

当選 伊達 憲太郎 (推薦依頼組織/自治労)



## 中部地協発 政治参加の意味を再考 —政治学習会を開催—

中部地域協議会は7月4日(木)、倉吉体育文化会館において、連合鳥取推薦議員6人を含む65人(うち女性10人・女性参画率15.4%)の参加により「中部地協政治学習会」を開催しました。

佐山和明議長、連合鳥取の山口一樹会長の開会あいさつと、県議会「民主ととり」副会長のおきはる英夫県議会議員、同じく「民主ととり」顧問の伊藤たもつ県議会議員から県政の状況について、湯原俊二衆議院議員から国政の状況についてそれぞれ報告をいただきました。また、倉吉市議会議員の福井康夫さん、北栄町議会議員の蓑原美百合さん、琴浦町議会議員の澤田豊秋さんにも参加いただきました。

今回の学習会を通じて、私たちの生活のあらゆる場面に「政治」が深く関わっていることを再認識しました。日常生活で直面するさまざまな困りごとについて、まずは「連合鳥取推薦議員」に相談することの重要性を改めて感じる良い機会となりました。



あいさつする佐山議長



連合鳥取山口会長 おきはる英夫 鳥取県議会議員 伊藤たもつ 鳥取県議会議員 湯原俊二 衆議院議員

## ■地域協議会も県内4市へ「男女平等参画社会の実現に向けた要請」行動実施

地域協議会は、連合鳥取推薦の各市議会議員の協力のもと、要請行動を展開しました。

倉吉市/ 中部地域協議会 7月22日(月)



佐山和明議長と福井康夫市議が 広田一恭倉吉市長(左)に手交

米子市/ 西部地域協議会 7月24日(水)



左から/ 伊藤ひろえ市議 藤縄和彦事務局長 佐々木俊二米子市総合政策部長

境港市/ 西部地域協議会 7月9日(火)



左から/ 松康弘市議 藤縄和彦事務局長 伊達憲太郎境港市

## 鳥取市/ 東部地域協議会 7月3日(水)



左から/ 勝田鮮三市議 長坂則翁市議 深澤義彦鳥取市長 土師佑太議長 山下浩二事務局長 秋山智博市議 坂根政代市議



連合鳥取 Facebook

連合鳥取



東部地域協議会



中部地域協議会



西部地域協議会



随時更新中! ~チェックしてね~

# 野田佳彦元総理大臣来鳥!

## 一連合鳥取四役と意見交換会を実施一

7月15日(月・祝)、とりぎん文化会館(鳥取市)で、湯原俊二衆議院議員も同席され、立憲民主党最高顧問「野田佳彦」衆議院議員(元総理大臣)との意見交換を行いました。

話題は来たる衆議院議員選挙の鳥取1区および2区への対応、政権交代への構想、国民の政治への信頼回復など多岐にわたり、率直な意見を交わしました。

参加者/山口一樹会長 北畑仁史副会長 細砂直副会長 河村正之事務局長 松本善樹副事務局長 山下浩二副事務局長 寺田真里副事務局長 藤縄和彦副事務局長



意見交換の様子



## 東部地協発 「時局講演会」に多数参加

野田元総理は講演の中でときおり会場の笑いを誘いながらも、「自民党の裏金問題は単なる申告の問題ではなく脱税事件だ。何一つ真相が解明されていない」と言及し、「汚れた雑巾では汚れは取れない。次期衆議院選挙は政権交代のチャンス。ここ鳥取でもうねりを作ってほしい」と強く訴え、約200人(うち東部地域協議会68人)の参加者により会場は熱気に包まれました。



# “ザ”議員

## 村上 泰二郎 鳥取県議会議員

3月、4月は鳥取県議補選、衆議院議員補選の2つの選挙に全精力を注ぎ込み、1勝1敗という嬉しくも悔しい結果でした。

働く者、生活者のための政治を実現するための一番重要なタイミングが選挙です。議会活動では多数決によって働く者の意見が軽視され届かない経験を何度もし、選挙の重要性を改めて痛感しています。

一人でも多くの連合推薦議員・首長の当選、更には働く者のための「政権交代」をめざして、これからはすべての選挙に全力で臨む所存です。

連合のみなさんが掲げられておられる「働くことを軸とした安心社会の実現」に向け、ともにがんばりましょう。



鳥取県議会議員補欠選挙/一番左が村上議員

## 勝田 鮮二 鳥取市議会議員

届ける!叶える!あなたの声を!

一令和6年6月定例会(一般質問)で2項目について、下記のように質問しましたー

### ①勝見川改修に関連して

勝見川は、鹿野町北部から気高町勝見集落を流れ、JR浜村駅南の線路沿いを東へ流れて浜村川へと合流する県の2級河川です。勝見川流域の多くの住民より、子どもの頃から頻繁に増水・氾濫が発生しており、ここ近年は線状降水帯が長時間居座り続けることで、ゲリラ豪雨となったり、台風の影響があったりと、安心して生活ができなくて多くの声を聞いています。

県は、集落南側に東西方向の放水路整備の計画をしていますが、現状はどうですか?

### ②熱中症対策に関連して

「クールシェルター※」について令和5年度には市内に131ヶ所あるとのことですが、どこにあるのかわかりません。市民によくわかる広報が必要と考えます。鳥取市はどのように考えていますか?

これからも皆様の目線で頑張らせて参ります。

※クールシェルターとは? 「エアコンが入っている」「座って休憩ができる」など、熱中症予防を目的とした休憩所のこと。



勝見川改修に関連して

質問者 勝田 鮮二 議員

制服を活用した働き方改革について、先日テレビで特集をされていきました。ある医療現場で時間外労働が問題視されており、年間一人当たり110時間あったとのことでした▼「たまたま見た」アムフトの攻めと守りの分業制」からヒントを得て、「日勤は制服を赤、夜勤の制服を緑」と分けて、一目で分かるように▼すると、日勤の制服の人が夜勤の時間まで働くこと目立つし、周りも声を掛けられるようになり、年間一人当たり20時間まで減ったとの内容でした▼労働者不足によって、機械化や集約化など効率化施策を進めていかなければならない時代ですが、制服の色を変えたりというちょっとした変化だけで、大きな働き方改革につながることもあるのです。働きやすい労働環境の構築に向けて、私の労組でも企画提案運動を推進していきたいと思えます。

(鉄男)



てんてんてんてん



再生紙を使用しています